

地域連携推進会議 議事録	
事業所名：共同生活援助事業所ほっとハウス（介護サービス包括型）（日中サービス支援型） （※同時開催）	
開催日時：令和8年3月12日 10時00分～11時30分	会場：筑峯学園 会議室
構成員	地域住民(Sさん) 行政職員(市役所障害福祉課：Kさん)、 外部施設職員（サービス管理責任者：Sさん） 保護者2名(Kさん、Mさん) 利用者2名(Hさん、Tさん) 施設長：大和田 主任：井上  計 9名
協議事項	討論経過の重点及び結論
司会：大和田 記録：井上	
<p>1. 施設見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほっとハウス平沢を見学。棟内の間取りや利用者さんの居室の様子について見学してもらった。比較的綺麗との意見を頂く。</li> <li>・ほっとハウス作谷については場所が離れている為、別日で見学会を予定。</li> </ul> <p>2. 参加者紹介</p> <p>3. 地域連携推進会議についての説明</p> <p>4. 事業概要説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各棟の構成と利用者の平均年齢等について説明</li> <li>・日常的な支援（日課や生活面、余暇面、食事、服薬、健康管理等の支援）について説明。食事の様子の写真があると良かった。→次年度に反映させる。</li> <li>・事業計画で年間の行事を設定。季節に合わせた行事等を計画している。年2回買い物外出を企画しているが、今年度は職員体制の都合から冬期の外出が実施できなかった。</li> <li>・健康管理では、年1回は全利用者を対象として健康診断を実施。インフルエンザ予防接種等も行っている。</li> <li>・食事は法人の管理栄養士が作った献立を提供している。基本的には手作りの物を提供している。朝食のみグループホームの職員が作成した献立を提供。食事量は個々人の体格や体重、活動量を総合して調整している。自立生活の希望がある利用者には調理練習の支援も行っており、一部の利用者は毎日炊飯と味噌汁作りも行っている。</li> <li>・職員研修は虐待防止やBCP(事業継続計画)、感染症対策等の法定研修を実施している。BCPでは年1回土砂災害を想定した訓練も行っている。</li> <li>・安全管理について、事故やヒヤリハット報告の確認と傾向、再発防止に向けての取り組み等について説明する。毎月安全管理委員会と虐待防止委員会等を開催し、事故報告等の集計と再発防止策について検討をしている。また、虐待防止委員会では不適切な対応が無かったか等も確認している。</li> <li>・現在各棟に見守りカメラを設置中。プライバシーに配慮して設置している。主に怪我や利用者間トラブルがあった際の背景確認に活用している。</li> <li>・今後、広報面での取り組み強化が課題である事を報告。SNSの活用を強化していく。現在はFacebookを運用しているが、次年度はInstagramの活用も検討している。写真投稿がメインになる分、より配慮が必要である。</li> <li>・意思決定ではみんなの会議を開催し、当番決めや意見、希望収集の場としている。選挙にも参加し、自分の意思を表出する場を設けるよう努めている。</li> </ul>	

5. 意見交換会

○質疑応答

Q1: 年齢幅の表記は入居制限か? (地域住民: S さん)

A1: 現在入居者の年齢分布を示したもので制限ではない事を説明。

→表記が分かりづらかったので、次年度は表記方法を変更する。

→支援区分についての記載が無かったので追加説明する。平沢 A は平均 5.4~5.5、作谷は 4.8~5 で全体的に重度の方が中心となっている。

Q3: 高齢利用者にはどのような支援をしているか? (外部施設職員: S さん)

A3: 今は最高齢の 75 歳の利用者さんも元気に通所作業所に通っている。本人の気持ちが続く限りはできる範囲で支援していきたいと考えている。いずれは高齢者用の棟も必要と感じている。大きな病気で手術をした利用者もおり、障害のある方たちの手術や入院の対応について仕組みを考えていく事が今後の課題と考えている。

Q4: 外出に消極的な利用者さんはいるか? また、そのような人に対する対応は? (外部施設職員: S さん)

A4: 以前は外出する事がストレスで、外出先で寝転がってしまったりする利用者さんもいたが、現在は大きな拒否は少なくなった。理由の見立てと声かけ、残留支援や応援体制で柔軟に対応できている。

Q5: 散歩等の活動の時に急に立ち止まったりして動かなくなる人はいないか? (行政職員: K さん)

A5: 目的・不安の見立てに基づく声かけと職員の連携で対応している。声掛け等でうまくいかない場合は応援を要請し、可能な範囲で対応にあたっている。

○その他意見

・Facebook 以外の SNS も活用して、もっと活動内容が見えるようになると親としては嬉しい。(保護者: K さん)

・地域連携推進会議は今年度から義務化されたものなので、行政としても実態があまり掴めていないところがある。今後他の施設の会議にも参加していく中で共有できる事があればしていきたい。(行政職員: K さん)

・利用者さんへの質問(職員より)

(利用者 H さんへ) 作れるようになった料理は何かありますか?

→緊張で上手く話せない為、職員が炒め物などは作れるようになった事を説明。

→保護者より「調理の時は職員が揃えてあげるんですか?」との質問あり。

施設で献立に沿って材料を発注している。材料切り等も切り方を教えて本人に切るところから行ってもらっている。

(利用者 T さんへ) 何か今年の思い出はありますか?

A: 掃除頑張りました。

→職員からクリスマス会の話に触れ、メニュー決めの際に食べたい物を利用者さんに投票してもらって決めた事を紹介する。

(利用者さん両名に) 今の生活で何か困っている事はありますか?

→両名とも緊張もあり、特に返答は無し。

次年度は秋頃に開催予定である事を連絡し、会議を終了する。